



“生涯学習”という言葉から、皆さんは何を思い描きますか？

生涯学習とは、「いつでも、どこでも、自分から進んで自由に行う学習活動のことで、講座や教室への参加に限らず、スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、趣味など、村民一人ひとりが自分の能力・適性・興味・関心に応じて楽しむことができるさまざまな学習活動全てのこと」と、私は考えます。

生涯学習活動を楽しむということは、村民の皆さんの大切な人生を心豊かに生きがいのある充実したものにするにはもちろん、学びを通じた仲間づくりや、学習成果を活かした地域づくりなど、人と人が互いに尊重し合い、交流を深めながら住みよい豊かな地域社会づくりに大きな役割を果たすことが期待されています。

現在、我が国では、過疎化や家族形態の変容、価値観やライフスタイルの多様化等により、地域における人間関係の希薄化や人々の孤立が指摘されています。その一方で、東日本大震災の影響もあり、個々人が、積極的に社会活動に参画し、他者と協働しながら、主体的に「互助（ごじょ）・共助（きょうじょ）」による活力ある地域づくりに貢献していこうという意識の高まりを見せています。

このような状況の中で、地域住民の協働による地域課題の解決や活性化などの地域づくりの取組みを促進するためには、生涯学習を通じて得た知識や知恵を生かして社会参画や社会貢献の活動につなげる仕組みづくりが重要となっています。

「第四次北塩原村生涯学習推進計画」は、このような環境の変化に適切に対応し、村の生涯学習施策を一層総合的、計画的に推進するための指針として、「北塩原村第五次総合振興計画」との整合性を図り策定するものです。

「気づきから 学び・つながり 未来を築く」を基本理念とし、“学べる”・“活かせる”・“つながる”の3つの視点で基本施策を体系化しました。これを踏まえ、生涯学習機会の拡充に加え、地域コミュニティの活性化や、地域の教育力の向上に向けて、生涯学習によるむらづくりを進めてまいります。

結びに、この計画の策定にあたりまして、貴重なご意見をいただきました生涯学習推進会議委員の皆さまをはじめ、アンケート調査にご協力をいただきました村民、社会教育関係団体、学校関係者の皆さまに心からお礼を申し上げ、あいさついたします。

平成 30 年 3 月

北塩原村生涯学習推進本部長  
北塩原村長 小椋 敏一

